

評価基準

教 科	体 育	学 年	3学年
-----	-----	-----	-----

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体づくり運動 体ほぐしの運動	4	いろいろな体ほぐしの運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。	- 体ほぐしの運動の行い方がわかる。 - 手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や友達の心と体の状態に気付いたり、みんなで豊かに関わり合ったりすることができる。	- 自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 - 新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 - 基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。	- 体ほぐしの運動に進んで取り組んでいる。 - きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 - 使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 - 友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 - 活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。
体づくり運動 多様な動きをつくる運動	2	体のバランスを取る動き、体を移動する動き、用具を使った動き、力試しの動きを身に付け、それらを工夫したり、組み合わせたりする。	○姿勢や方向を変えて、回る、寝ころぶ、起きる、座る、立つなどの動きを通して体のバランスをとる動きができる。 ○速さ、リズム、方向などを変えて、這う、歩く、走る、跳ぶ、はねる、登る、下りるなどの動きができる。 ○用具をつかむ、持つ、降ろす、回す、転がす、くぐる、運ぶ、投げる、捕る、用具に乗るなどの動きができ	- 自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 - 新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 - 基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたり	- 多様な動きをつくる運動に進んで取り組んでいる。 - きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 - 使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 - 友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 - 活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりして

評価基準

教 科	体 育	学 年	3学年
-----	-----	-----	-----

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			る。 ○人を押す、引く、運ぶ、支えるなどをしたり、力比べをしたりするなどの動きができる。 ○いろいろな動きを組み合わせた動きができる。	したことを友達に伝えている。	いる。
器械運動 マット運動	8	自分の力に合った技を身に付け、できる技の繰り返しや、組み合わせ技に挑戦する。	- マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。 - 自分の力に合った回転系（前転など）や巧技系（壁倒立など）の基本的な技ができる。 - 基本的な技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ○前転 ○後転 ○開脚後転 ○補助倒立ブリッジ ○側方倒立回転 ○壁倒立 ○壁登り倒立 ○頭倒立	- 学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 - 技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 - 自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 - 見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	- マット運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 - マットなどの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 - 器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 - 互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 - 場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確認めたりするとともに、試技の開始前の安全を確認めっている。
器械運動 鉄棒運動	6	鉄棒の技に挑戦したり、技を組み合わせたりして楽しむ。	- 鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。 - 自分の力に合った支持系の基本的な技ができる。	- 学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 - 技のできばえを振り返っ	- 鉄棒運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 - 鉄棒などの器械・器具の正しい使い方や試技をする

評価基準

教 科	体 育	学 年	3学年
-----	-----	-----	-----

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			- 基本的な技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ○前回り下り ○かかえ込み前回り ○転向前下り ○膝掛け振り上がり ○前方片膝掛け回転 ○補助逆上がり ○かかえ込み後ろ回り ○後方片膝掛け回転	て、自分の課題を見付けている。 - 自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 - 見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 - 器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 - 互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 - 場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。
器械運動 跳び箱運動	8	自分の力に合った「基本の技」を身に付けたり、「発展技」に挑戦したりする。	- 跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。 - 自分の力に合った切り返し系（開脚跳びなど）や回転系（台上前転など）の基本的な技ができる。 - 基本的な技に十分に取り組んだ上で、それらの発展技に取り組むことができる。 ○開脚跳び（発展技：かかえ込み跳び） ○台上前転 ○首はね跳び	- 学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 - 技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 - 自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 - 見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	- 跳び箱運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 - 跳び箱、踏み切り板などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 - 器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。

評価基準

教科	体 育	学 年	3学年
----	-----	-----	-----

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
					- 互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 - 場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。
走・跳の運動 かけっこ・リレー	6	いろいろなくねくねコースで競争したり、決まりを決めてリレーをしたりする。	- かけっこ・リレーの行い方がわかる。 - スタート姿勢から素早く走り出すことができる。 - 真っ直ぐ前を見て、腕を前後に大きく振って走ることができる。 - 走りながら、タイミングよくバトンの受渡しができる。 - 折り返すときにコーナーの内側に体を軽く傾けて走ることができる。 - 最後まで全力で走ることができる。	- 工夫してロープを使ったりくねくねコースや、折り返しリレーなどのコースを作っている。 - かけっこやリレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 - 競走の仕方について考え、競走の規則などを話し合ったり決めたり、選んだりしている。 - かけっこ・リレーのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	- かけっこ・リレーに進んで取り組んでいる。 - きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 - 使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 - 勝敗を受け入れている。 - 互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 - かけっこ・リレーをする場

評価基準

教科	体 育	学 年	3学年
----	-----	-----	-----

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
					所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確認している。
走・跳の運動 小型ハードル走	6	小型ハードルをいろいろなリズムで走り越したり、自分に合ったリズムで走り越したりして、競走する。	- 小型ハードル走の行い方がわかる。 - いろいろな小型ハードルのコースをリズムにのって調子よく走りながら、小型ハードルを走り越すことができる。 - 一定間隔に並べられたハードル（40mにハードル3台）を一定のリズムで走り越すことができる。	- いろいろな小型ハードル走のコースや、調子よく走り越せるコースを作り、自分に合ったコースを選んでいる。 - 小型ハードル走のポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 - 小型ハードル走のポイントについて見合ったり、教え合ったりしている。 - 競走の仕方について考え、競走の規則などを話し合っていて決めたり、選んだりしている。 - 小型ハードル走のポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	- 小型ハードル走に進んで取り組んでいる。 - きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 - 使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 - 勝敗を受け入れている。 - 互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 - 小型ハードル走をする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確認している。
走・跳の運動 幅跳び	6	短い助走から強く踏み切って遠くに跳ぶ。	- 走り幅跳びの行い方がわかる。 5～7歩程度のリズムカルな助走から踏み切り足を決めて前方に強く踏み切り、遠くへ跳ぶことができる。 - 膝を柔らかく曲げて、両足	- 走り幅跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 - 走り幅跳びのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、遠くに跳ぶための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練	- 走り幅跳びに進んで取り組んでいる。 - きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 - 使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 - 勝敗を受け入れている。

評価基準

教科	体 育	学 年	3学年
----	-----	-----	-----

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			で着地することができる。	習の場を選んでいる。 - 競争の仕方について考え、競争の規則や記録への挑戦の仕方を話し合って決めたり、選んだりしている。 - 走り幅跳びのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	- 互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 - 走り幅跳びをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。
走・跳の運動 高跳び	6	短い助走で調子よく踏みきり、高く跳ぶ。	3～5歩でリズムカルに助走することができる。 - 振り上げ足を大きく振り上げることができる。 - バーを跳び越し、膝を曲げて柔らかく安全に着地することができる。	- 走り高跳びのポイントがわかり、自分の課題を見つけている。 - めやす記録の決め方を理解し、自分の力に合っためやす記録を決めている。 - 高く跳ぶための練習方法を理解し、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。	- 走り高跳びに進んで取り組もうとしている。 - 走り高跳びの行い方のきまりを守り、友達と励まし合って、練習をしようとしている。 - 友達と協力して、場の準備や後片づけをしようとしている。 - 練習の場の安全を確かめようとしている。
水泳運動	11	いろいろな浮き方やもぐり方、泳ぎ方をする。	○いろいろな浮き方ができる。 ・くらげ浮き、伏し浮き、背浮き ・伏し浮きから背浮き、け伸び ○補助具を使ってクロール、平泳ぎで泳ぐことができる。 ○面かぶりクロールや面か	- 自分で立てためあてに挑戦し、自分の課題を見付けている。 - 補助具を活用したり友達に補助してもらったりするなど、自分の力に合った練習の仕方を選んでいる。 - 友達のよい動きや課題の解決のための動きのポイントを見付け、言葉や動作で	- 水泳運動に進んで取り組んでいる。 - け伸びをする際に順番にスタートしたり、決まった場所で友達と練習したりするなど、きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 - 使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしてい

評価基準

教科	体 育	学 年	3学年
----	-----	-----	-----

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			ぶり平泳ぎで泳ぐことができる。	伝えている。 自分で試したいろいろなめぐり方や浮き方を友達に伝えたり、互いのよい動きの真似をしたりしている。	る。 - 互いの動きを見合ったり補助をし合ったりするときに見付けた動きのよさや課題について伝え合う際に、友達の考えを認めている。 - 準備運動や整理運動を正しく行う、バディで互いを確認しながら活動する、シャワーを浴びてからゆっくりと水の中に入る、プールに飛び込まないなど、水泳運動の心得を守って安全を確かめている。
ゲーム ゴール型（タグラグビー）	6	相手をかわしたり、パスをしたりしながら、攻め方を工夫してタグラグビーをする。	- タグラグビーの行い方がわかる。 - 味方にボールを手渡したり、パスを出したり、ゴールにボールをトライすることができる。 - ボール保持者と自分の間に守者がいない空間に移動することができる。	- 誰もが楽しくタグラグビーに参加できるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、得点の仕方などの規則を工夫している。 - タグを取ったり、トライするために、簡単な作戦を話し合ったり決めてたり、選んだりしている。 - 課題の解決のために考えたことを、動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	- タグラグビーに進んで取り組んでいる。 - 規則を守り、誰とでも仲よくしている。 - 使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 - 勝敗を受け入れている。 - 互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 - 使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。
ゲーム ベースボール型（フットベース）	6	ボールを打って得点したり、ボールを取ってアウトにしたり	フットベースの行い方がわかる。	誰もが楽しくフットベースに参加できるように、プレ	フットベースに進んで取り組んでいる。

評価基準

教 科	体 育	学 年	3学年
-----	-----	-----	-----

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		して、フットベースをする。	・ボールをフェアグラウンド内に打つことができる。 ・投げる手と反対の足を一歩前に踏み出してボールを投げるができる。 ・向かってくるボールの正面に移動し、ボールを捕ることができる。 ・ベースに向かって全力で走り、かけ抜けることができる。	・イヤーの人数や得点の仕方などの規則を工夫している。 ・攻め方や守り方の簡単な作戦を話し合っ決めてたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	・規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。
E ゲーム ゴール型（スモールサッカー）	8	・みんなで攻め方・守り方を工夫して、スモールサッカーをする。	・ボールをもったときに、ゴールに体を向けることができる。 ・マークする相手を決めて守ったり、守る範囲を決めて得点を防ぐことができる。 ・インステップキックとインサイドキックの使い分けをして、味方にパスを出すことができる。 ・ドリブルでボールをゴール近くまで運ぶことができる。	・スモールサッカーの行い方がわかり、ルールを話し合っ決めている。 ・自チームや相手チームの特徴を理解し、チームで簡単な作戦（攻め方・守り方）を立ててゲームをしている。 ・ゲームの合間の話し合いで改善するところなどを見つけ、それに合った練習のしかたを選択・工夫している。	・スモールサッカーに進んで取り組もうとしている。 ・スモールサッカーの約束やルールを守り、友達と励まし合っ、練習やゲームを行おうとしている。 ・勝ち負けを素直に認めようとしている。 ・反則やマナー（約束）違反

評価基準

教科	体 育	学 年	3学年
----	-----	-----	-----

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			相手のマークを外してパスを受けやすい位置に移動して、パスを受けることができる。		について、自ら手をあげるなどして認めようとする（セルフジャッジ）。 - 友達と協力して、コートでの準備や後片づけをしようとしている。 - ゲームを行う場や練習の場の安全を確かめようとしている。
F 表現運動 表現「忍者参上」	5	忍者の忍びや、対決などの特徴を捉えて、表したい感じを踊る。	- 表現「忍者参上！」の行い方がわかる。 - 表現「忍者参上！」ならではのふさわしい動き（忍び込む、戦うなど）で特徴を捉えたりすることができる。 - 表現「忍者参上！」の動きの誇張や変化の付け方として、表したい感じを、跳ぶ一転がる、素早く動く一急に止まるなど動きに差を付けて誇張したり、「追いつ・追われつ」や「戦い・対決」などの2人組やグループで対応・対立する動きで変化を付けたりして、ひと流れの動きで即興的に踊ることができる。 - ひと流れの動きへの工夫の仕方としては、表したい感	- 表現「忍者参上！」の動きのポイントがわかり、楽しく踊るための自分の課題を見付けている。 - 表現「忍者参上！」におけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 - 友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために考えたことや友達のよい動きを伝えている。	- 表現「忍者参上！」に進んで取り組んでいる。 - 表現「忍者参上！」に取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 - 場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 - 友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 - 友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。

評価基準

教 科	体 育	学 年	3学年
-----	-----	-----	-----

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			じを中心に、感じの異なる動きや急変する場面など変化のある動きをつなげてメリハリ（緩急・強弱）のあるひと流れの動きに工夫して感じを込めて踊ることができる。		
F 表現運動 リズムダンス	5	ロックやサンバのリズムに乗って弾んで踊ったり、動きに変化をつけたり、友達と関わり合って踊ったりする。	- リズムダンスの行い方がわかる。 - ロックサンバのリズムダンスにおいて、変化をつけた動きを入れながら、いくつかの曲を即興的に踊ることができる。 2～3人組でロックやサンバのリズムの特徴を捉えた動きや変化をつけた動きで踊ることができる。	- ロックやサンバのリズムの動きのポイントがわかり、楽しく踊るための自分の課題を見付けている。 - ロックやサンバのリズムにおけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 - 友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために工夫して考えた動きを一緒に踊るなどして伝えている。	- リズムダンスに進んで取り組んでいる。 - リズムダンスに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 - 場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 - 友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 - 友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。